

K.G. WEEKLY NEWS

■発行日 2014.12.8 No.794 ■発行 関西学院広報室 ■西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL 0798-54-6017

博物館で聖書の物語をテーマに企画展 「聖なる光に照らされて 聖書から生まれた美」

創立125周年を記念して9月に開館した関西学院大学博物館では現在、第1回企画展「聖なる光に照らされて 聖書から生まれた美」を開催している。

ゲーテンベルク印行「42行聖書」や死海写本レビ記断片など大学図書館が所蔵する貴重な聖書コレクションをはじめ、世界のクリスマス切手や聖書の物語をテーマにした美術品を展示している。渡辺禎雄の型染版画の展示では、イエスの誕生から復活までの生涯を辿ることができる。※一般参加可、無料、申込不要

- ＜展示＞
- 時期：2015年2月14日(土)まで。9時30分～16時30分
- 休館日は、日曜・祝日(12月23日は開館)、12月24日～2015年1月5日、2月1日～8日
- ＜開催記念講演会「聖書による美と平和への祈り」＞
- 講師：神田健次・神学部教授
- 日時：12月13日(土)13時30分～15時
- 場所：西宮上ヶ原キャンパス大学図書館ホール
- 問い合わせ：大学博物館(0798・54・6054)

第42回関西学院史研究会

創立125周年記念シンポジウム

「W.R.ランバス宣教師の足跡を訪ねて」-ブラジル・アメリカ・中国への旅から-

関西学院同窓会は創立125周年を記念して、学院創立者W. R. ランバス宣教師の宣教の足跡を訪ねる旅を企画し、一昨年はブラジル、昨年はアメリカ、そして今年は中国への研修旅行を実施した。

卒業生が3年にわたりランバス宣教師ゆかりの地を訪問してきた旅を振り返り、学院創立者のグローバルな働きの中での今日的な意義を考える。関西学院大学学院史編纂室主催。

- ※一般参加可、無料、申込不要
- パネリスト
- ルース M. グルーベル・関西学院院長
- 多田義治・関西学院同窓会企画委員長
- 池田裕子・学院史編纂室総合主管
- 日時：12月16日(火)13時30分～15時
- 場所：関西学院会館 光の間(西宮上ヶ原キャンパス)
- 問い合わせ：学院史編纂室(0798・54・6022)

最終講義のお知らせ

今年度をもって退職する関西学院大学の教員が、次の日程で最終講義を行う。他の最終講義は次回に紹介する。

馬場研介・総合政策学部教授

- 日時：12月15日(月)15時10分～16時40分
- 場所：神戸三田キャンパス3号館325号教室
- 演題：「関学と私」

関学生がプログラミングを 教えられる高校生を育成中



-兵庫県加西市の地域活性化プロジェクトに採択-

プログラミングの楽しさを子どもたちに教える学生団体「Feel Learning 感学」が神戸三田キャンパスのアカデミックコモンズで、高校生の育成プロジェクト「Feel Learning for 北条高校」を実施している。



このプロジェクトに参加することで、プログラミングを子どもたちに指導する能力を習得することができ、高校生発信で小中学生がプログラミングを体験できる。大学から高校、さらに小中学生へと拡散する流れを定着させることで、継続的な地域活性化を目指す。今回は加西市の兵庫県立北条高校の生徒が対象。

代表の三輪華さん(理工学部4年生)が今年6月、同プロジェクトを兵庫県加西市ふるさと創造課の地域活性化プロジェクトに申請した。企画は助成金を得て、11月から始動。

12月13日(土)にアカデミックコモンズで、北条高校生にプログラミングやワークショップのノウハウを指導する。1月末には実践を想定した指導を行い、2月にははいよいよ北条高校の生徒が主体となって加西市の小中学生にワークショップを実施する予定。

三輪さんは「重要度が増している小中学生へのプログラミング教育を高校生が担えるようになれば、10代だけで地域活性化のサイクルが作れます。そのきっかけを関学生が

作り、若い世代にプログラミングのおもしろさを感じて欲しいです。また『若者グループからの地域活性化』という加西市の夢にも貢献したいです」と意気込んでいます。



- 日時：12月13日(土)13時～15時
- 場所：神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ
- 問い合わせ：神戸三田キャンパス事務室(079・565・7600)



関西学院は2014年9月に創立125周年を迎えました。

次号は12月15日(月)発行予定